

記者発表資料

利根川上流ダム群の貯水量は過去最低！

今後の対応や節水の取組み等を確認！

利根川上流の8ダムの貯水量は、少雪や3月から5月までの少雨によりダムへの流入量が少なかったことや、下流部の水利用のためのダムからの放流が多かったことにより、6月6日現在、過去最低となっています。

これからの季節は、利根川中流域の二毛作等による農業用水の需要が高い時期でもあり、ダムからの多量の用水補給が行われます。平年は、梅雨でまとまった降雨があるので、利根川上流8ダムの貯水量が3億m³を下回るのは7月下旬頃です。しかし、今年はダム貯水量が現時点で過去最低であり、梅雨の降雨が少なければ、平年より1カ月以上早い、6月中旬にも3億m³を下回ることが予想される厳しい状況です。

このため、本日、利根川水系湧水対策連絡協議会幹事会分科会を開催し、関係機関に対して現在の状況や貯水量等の今後の見込みについての情報提供を行いました。あわせて湧水時の対応や節水の取組み等の確認も行いました。

1. 利根川上流ダム群の現状と今後の見通し（詳細は、別添参照）

- ・ 栗橋上流域降雨状況 1月～5月までの降水量は286ミリ
（過去60年間で、6番目に少ない降水量）
- ・ ダムの貯水状況 6月6日9時現在の8ダム貯水量は、3億3,110万m³
（平成4年～平成18年の平均4億372万m³と比べて82%）
- ・ 今後の見通し 梅雨入り後のまとまった降雨がなければ、貯水量は低下する見込み

2. 今後の対策

- ・ ダム等水資源開発施設については、引き続き、きめ細かな水運用を行っていく。
- ・ 節水の取組み等と、必要に応じて取水制限等の機動的な対応を行っていく。
- ・ HP等でのダム情報の提供。<http://www.ktr.mlit.go.jp/kyoku/river/mzshigen/kasui/>
（関東地方整備局で検索し、「水を大切に！水源情報」をクリック）

平成19年6月7日（木）

利根川水系湧水対策連絡協議会（事務局：関東地方整備局）

発表記者クラブ

埼玉県政記者クラブ、竹芝記者クラブ、横浜海事記者クラブ
神奈川建設記者会、東京都庁記者クラブ、千葉県政記者会
茨城県政記者クラブ、栃木県政記者クラブ、刀水クラブ

問		い		合		わ		せ		先	
国土交通省	関東地方整備局	河川部									
〒330-9724	埼玉県さいたま市中央区新都心2-1	水政調整官		塚本		(内線)		3515			
	さいたま新都心合同庁舎2号館	水政課長		小島		(内線)		3551			
電話(代	表)	048-601-3151		河川環境課長		富岡		(内線)		3651	
	(水政課夜間直通)	048-600-1334		河川環境課長補佐		林		(内線)		3652	
	(河川環境課夜間直通)	048-600-1336									

利根川上流ダム群等の現状について

平成19年6月7日

関東地方整備局

1. 利根川上流ダム群の貯水量は平年を下回る状況

- ・1月から5月までの累加降水量は286mm（平年1月～5月までの累加363mm）と平年の79%となっており、昭和23年以降で6番目に少ない降水量となっています。
- ・利根川上流8ダムは、6月6日9時現在の貯水量は、3億3,110万³m、常時満水容量4億6,163万³m³に対して72%、平年の貯水量4億372万³m³に対して82%となっています。

表－1 利根川栗橋上流域平均降水量

単位 (mm)

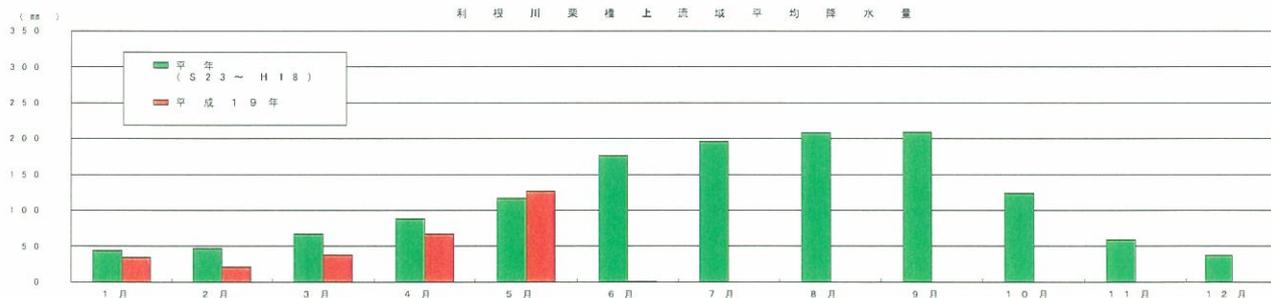
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	摘要
昭和62年	22	33	62	14	89	91	204	186	252	73	39	26	1,091	利根川夏湯水
平成2年	31	66	71	119	58	74	118	193	326	143	183	31	1,413	"
平成6年	27	50	52	23	139	107	104	153	346	87	26	29	1,143	"
平成8年	26	35	68	47	98	117	155	78	217	80	55	23	999	利根川冬夏湯水
平成9年	33	33	59	74	179	173	170	167	206	14	94	20	1,222	利根川冬湯水
平成13年	79	35	75	23	136	176	116	366	321	173	46	23	1,569	利根川夏湯水
平成18年	46	68	57	75	117	176	331	126	180	218	97	123	1,614	
平年 (S23-H18)	44	47	67	88	117	176	196	208	209	124	59	37	1,372	
平成19年	34	21	38	67	126	1							287	
平年比 (%)	77	45	57	76	108	1							21	

※. 利根川取水制限実施月（一時緩和含む）

平成19年6月5日まで

※. 栗橋上流域面積 16,840km²

図－1



表－2 利根川上流ダム群の貯水状況（平成19年6月6日 9時現在）

(万³m)

諸元	矢木沢	奈良俣	藤原	相俣	菌原	下久保	草木	渡良瀬貯水池	合計	平年比 (%)
有効容量	11,550	8,500	3,101	2,000	1,322	12,000	5,050	2,640	46,163	—
貯水量	5,933	6,824	1,349	1,489	535	9,593	4,854	2,533	33,110	40,372
貯水率 (%)	51	80	44	74	40	80	96	96	72	82

※. 有効容量は、常時満水容量。貯水率は、常時満水容量に対する貯水量の割合。

図－2

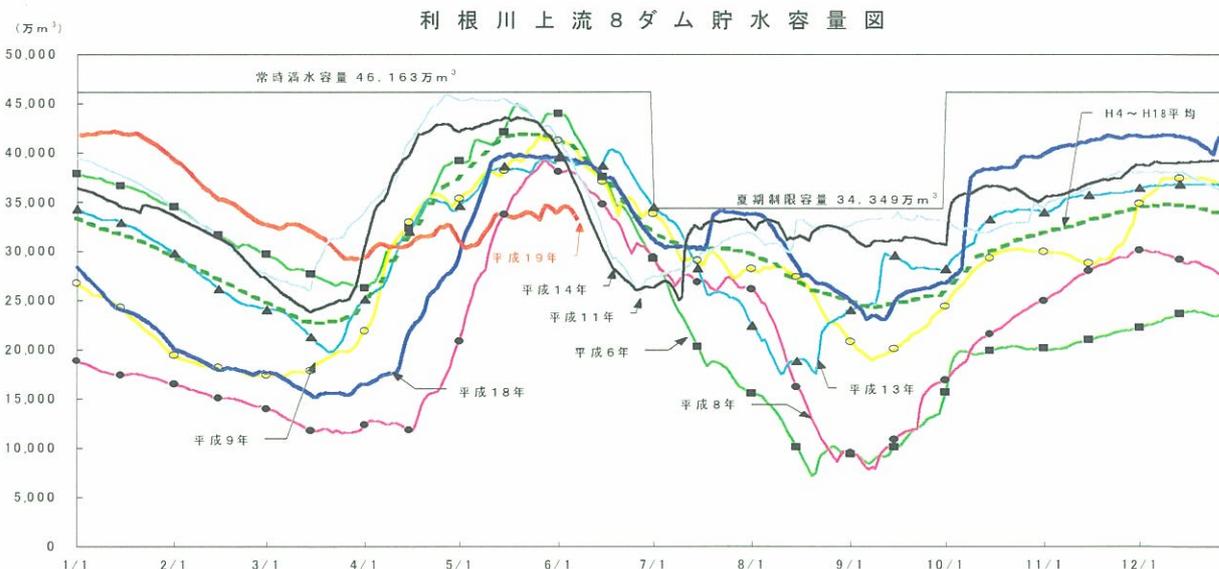
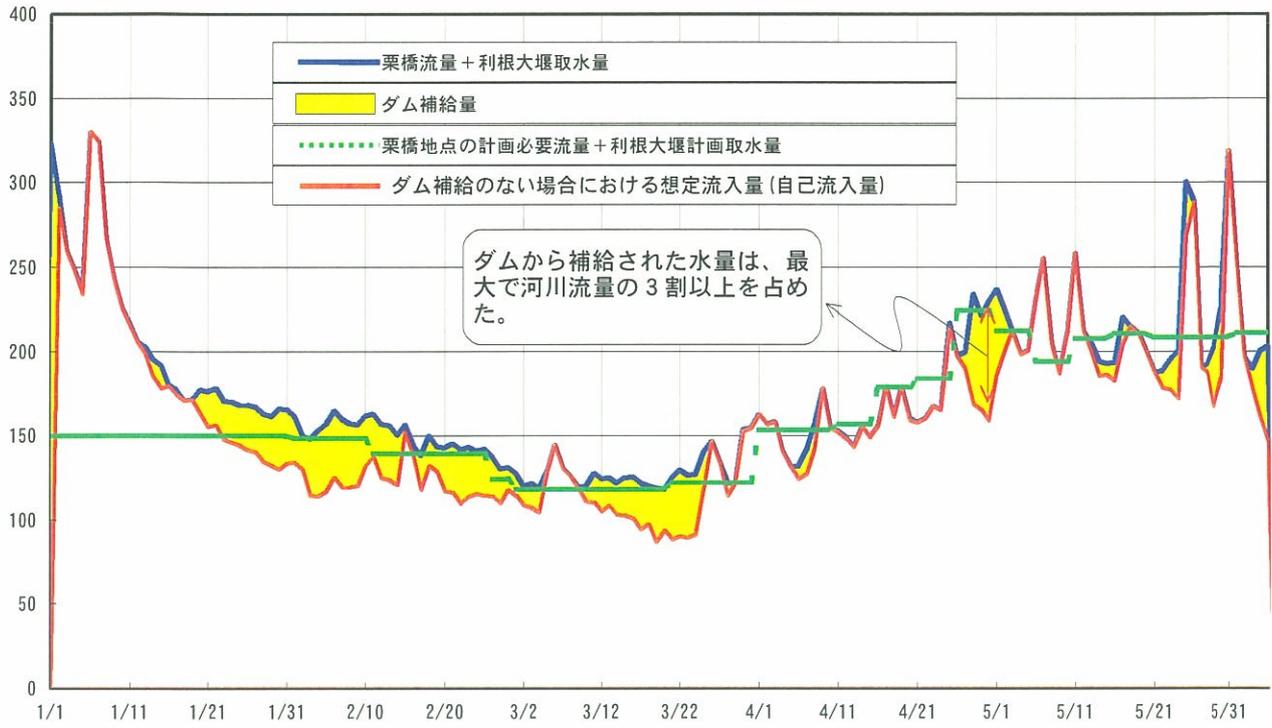


図-3 ダムの補給状況

流量 (m³/s)



2. 鬼怒川上流ダム群は平年を下回る貯水量

- ・ 1月から5月までの累加降水量は230mm（平年1月～5月までの累加405mm）と平年の57%となっており、昭和47年以降で最も少ない降水量となっています。
- ・ 鬼怒川上流ダム群は、6月6日0時現在の貯水量は、1億1,139万 m^3 、常時満水容量1億8,034万 m^3 に対して62%、平年の貯水量1億1,978万 m^3 に対して93%となっています。
- ・ また、4月21日から利根川本川へ3 m^3/s の補給を行なっています。

表－3 鬼怒川佐貫上流域平均降水量

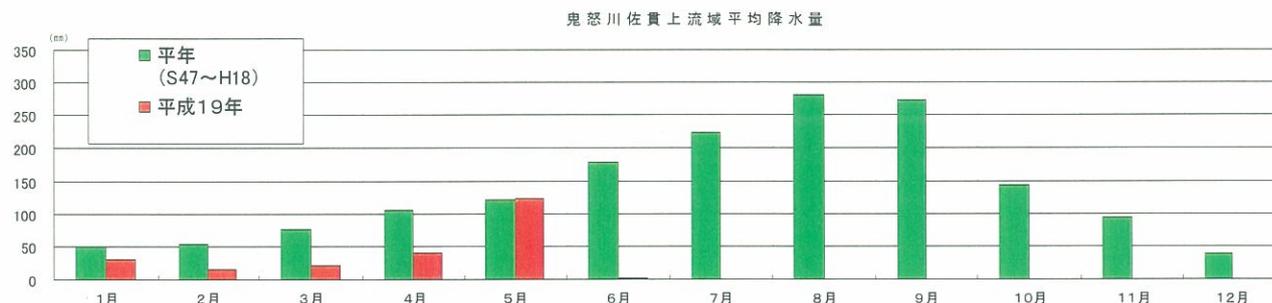
単位 (mm)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
昭和62年	21	34	127	21	121	134	186	156	321	121	38	21	1,301
平成2年	35	89	79	164	53	111	109	338	394	195	220	66	1,853
平成6年	15	118	77	21	126	103	159	218	551	122	25	48	1,583
平成8年	46	69	79	67	113	103	176	109	211	66	65	36	1,140
平成9年	46	55	74	52	145	272	234	114	274	17	215	27	1,525
平成13年	56	13	34	13	116	185	147	484	610	225	62	35	1,980
平成18年	32	34	36	50	111	167	312	90	260	212	118	78	1,500
平年 (S47-H18)	50	54	76	105	120	178	224	282	273	143	93	39	1,637
平成19年	31	15	21	41	122	1							231
平年比 (%)	62	28	28	39	102	1							14

※. 鬼怒川佐貫上流域面積 940 km^2

平成19年6月5日まで

図－4

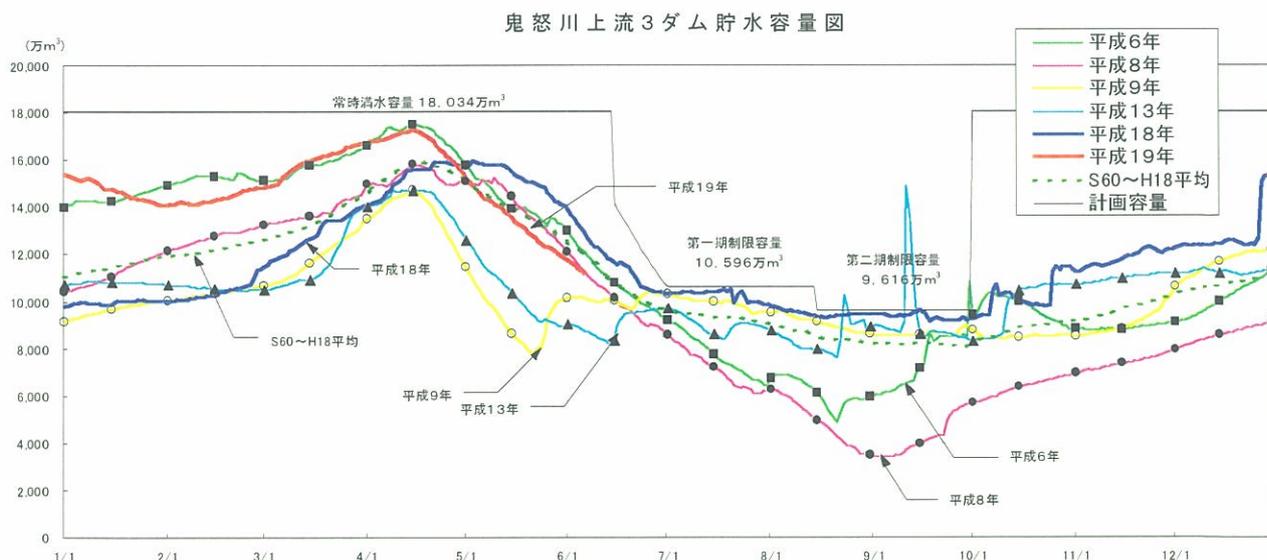


表－4 鬼怒川上流ダム群の貯水状況（平成19年6月6日 0時現在）（万 m^3 ）

諸元	五十里	川俣	川治	合計	平年比 (%)
有効容量	3,123	7,311	7,600	18,034	—
貯水量	1,015	5,247	4,877	11,139	11,978
貯水率 (%)	33	72	64	62	93

※. 有効容量は、常時満水容量。貯水率は、常時満水容量に対する貯水量の割合。

図－5

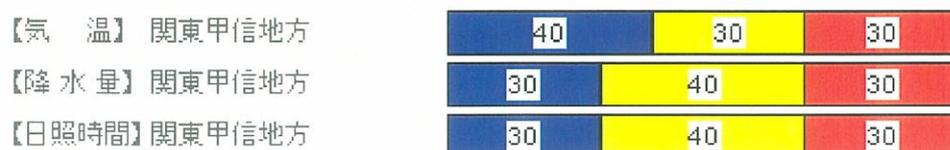


3. 今後の降水量の見通し（関東甲信地方）

- 平成19年6月1日発表の気象庁の1か月予報によると、6月2日から7月1日の関東甲信地方の降水量については、「平年並」となっており、5月24日発表の気象庁の3か月予報によると、降水量は、6月は「平年並」となっており、7月は「少ない」、8月は「少ない」となっています。

1か月予報（平成19年6月1日発表）

< 向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%) >

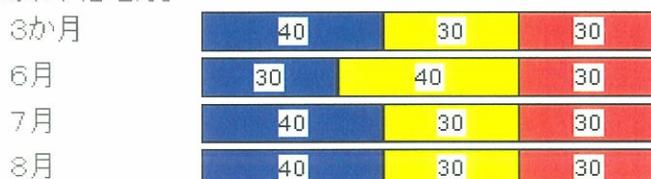


凡例: 低い(少ない) 平年並 高い(多い)

3か月予報（平成19年5月24日発表）

【降水量】

[関東甲信地方]



凡例: 低い(少ない) 平年並 高い(多い)